

一般財団法人三重YMCA
2022年度事業報告書
【計画期間：2022年度～2024年度】

§1 意義

一般財団法人三重YMCAは、キリスト教精神をもとにしつつ、宗教、国、政治、人種などの枠を超えて、課題にある青少年の痛みを受け止め、彼らが個人として、また社会人として課題に向き合い、解決していく力をもった人に成長すること願い、そのために必要な諸活動を営む社会教育団体である。

また、高齢化社会にあって、彼らが高齢者になっても、そのおかれた環境のなかでポジティブに生きることができることを願い、ウェルネスを諸活動に置く。

※「ウェルネス」とは、各人が、与えられたその状況の中で、自らの潜在的な可能性を最大限に求める生き方です。身体的健康、精神的健康、知的健康、情緒的健康及び社会的健康のそれぞれについて、これらがより良い状態へと統合され、より望ましい人となることを目標とするものです。

【年間聖句】

「ひとびとは東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。」
(ルカによる福音書13章29節)

§2 経営理念（ミッション・ステートメント）

三重YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、次の使命を果たすための活動を展開します。

- 1 すべての人が、生涯をとおして人間らしく成長することを願い、ボランティアの育成と共に学び合う教育に力を注ぎます。
- 2 お互いの人権を尊重し、共に生きる福祉社会と、すべての生命が守られる環境の実現に努めます。
- 3 歴史に学び、互いの文化を理解し、正義と平和のために、世界の人びとと共に歩みます。
- 4 常に何が正しいのかを、共に考え、話し合い、実践する社会の実現をめざします。

§3 事業活動の現況に関する事項

● 事業の全般的状況

2022年度は、園児数の減少に伴い、運営がむづかしい年度であった。一方情報発信の面で課題が見えた年でもあった。

1 情報発信について

- (1) 法人契約の携帯電話機を購入し、休日の受付体制を充実した。休日の問合せは4件あり、4件共に入園につながった。ただ、SNS(line)を利用した園児募集を実現できなかった。

2023年度への課題である。

- (2) Q & A方式によるホームページの充実は、内容を検討して実現する。

2 プログラムの見直しは、次の結果となった。

- (1) YMCA幼稚園は、年長16名が卒園し、延べ441名の卒園生を送り出した。年中が8名、年少が4名となったが、年少以下の年代が多くなった。
- (2) 参加自由形のクラスを目指したが、実現しなかった。プログラム内容を見直し、計画を実現したい。
- (3) 四日市大学ボランティア部との協働は、そのような場面の設定ができなかった。

ボランティアが参加できるプログラムのための、人の配置が必要となる。

3 退会者をゼロにすることを目標にしたが、受験を目の前にした子どもたちの退会を避けることができなかった。

4 財団法人設立40周年事業については、記念誌発行とホームページへの掲載する形で進めている。

2023年度は、年長、年中の園児数の減少を踏まえ、勤務体制を見直し、更なる園児の獲得に取り組みたい。このため、情報発信と新規プログラムの実現を目指す。

皆様方におかれましては、これまでと同様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

● 各事業の売上高

(単位：千円、%)

事業名	今期売上金額	構成比	前期売上金額	構成比
Y M C A 幼児園事業	22,557	78.7	24,850	78.9
青少年育成事業	1,739	6.0	2,018	6.4
語学事業	0	0	0	0
その他事業	4,379	15.3	4,619	14.7
合計	28,675	-	31,487	-

※その他事業：音楽・クラフト教室、T O E I C 試験会場運営受託

§ 4 資金の借入れその他資金調達の状況

2022年度は、資金不足が生じた月があったため、役員等からの寄付借入によって対応した。

§ 5 設備投資の状況

なし

§ 6 対処すべき課題

- 1 理事後継者を早急に獲得すること
- 2 Y M C A 幼児園の土地は、借地である（定期借地契約、平成35年12月契約満了）。早急に対応策をたてること。
- 3 個人会員、日本Y M C A 同盟からの借入れが大きく、返済の責務を負っていると同時に、債務超過の原因であり、毎月の資金繰り圧迫の要因となっていること（§ 8 参照）

§ 7 設置施設の状況

名 称	所在地	備考
本社、Y M C A 幼児園	三重県四日市市阿倉川町3-17	土地は、借地
体育ホール	三重県四日市市阿倉川町6-11	建物は、借家

§ 8 主要借入先

借入先	金額
個人会員	58,875 千円
公益財団法人日本Y M C A 同盟	7,702 千円
合計	66,577 千円

§ 9 組合の運営組織の状況に関する重要な事項

当法人には、組合組織はなく、従業員代表を選んでいる。

§ 10 職員の状況

区分	人数	平均年齢	平均勤続年数	備考
総主事	0名	-	-	不在
役職員数	1名	-	15年	Y M C A 幼稚園園長
職員数	17名	48.7歳	13年	
T O E I C 試験官数	17名	-	-	8回、延べ136名
合計	35名	-	-	-

§ 11 役員に関する事項

役職	氏名
代表理事	塚本浩巳
理事	栗原正明
理事	後藤友則
監事	千賀直道
監事	平尾貴美子

§ 12 その他法人の状況に関する重要な事項

- 1 当法人は、1974(昭和49)年3月三重県四日市市に誕生、1983(昭和58)年4月財団法人三重キリスト教青年会として財団法人格を取得、2014(平成26)年4月一般財団法人三重Y M C Aに移行した。
- 2 2018年10月25日付けにて「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」(三重県知事 鈴木英敬)を受けた。これにより「認可外保育施設」として認定された。
「子福第04-240号 平成30年10月25日」
三重県子ども・福祉部 少子化対策課保育サービス・幼保連携班

以 上

【数値指標】

§ 1 各事業別クラス、参加者数等一覧

(2023年3月31日現在)

クラス名	対象	回数	人数	備考
【YMCA幼稚園事業】				
マミー	1歳児の親子	月2回	4組	英語、体育、音楽
つくし	2歳児の親子	毎週水曜日	1組	英語、体育、音楽
めばえ	満3歳児	毎週木曜日	7名	
つぼみ	全日制1, 2歳児	週5日	6名	11月開始
のぞみ(年少)	3歳児	週5日	4名	
みのり(年中)	4歳児	週5日	8名	
ひかり(年長)	5歳児	週5日	16名	
アドバンスアウル他	年少～年長	週1回	19名	幼児英語クラス
アドバンスグラッズ	小学1・3年生	週1回	17名	小学生英語クラス
アウルエレメンタリー	小学1～6年生	週1回	9名	小学生英語クラス
算数・英語	中学1年生	週1回	0名	
中学生準備	小学6年生	週1回	4名	
中学生(英検対策)	中学1～3年生	週1回	2名	
プライベート		週1回	4名	
ピアノ	年少～小学生	週1回	10名	
クラフト	年少～小学生	月2回	9名	絵画、クラフト製作
英語で遊ぼう	年少～年長	3回	延べ41名	夏・冬・春休み
クラフト	年少～小学生	4回	延べ50名	夏・冬・春休み
【青少年育成事業】				
幼児体操教室	年少～年長	週1回	5名	年40回
マスター	小学1～4年生	週1回	14名	年40回
短期集中体操	年少～小学生	4日間	延べ36名	3回開催